

第3学年 学級活動（1）指導案

指導者

1. 日時・場所 令和5年6月

2. 議題 「協力レベルアップ！
集会をしよう」

学級目標

3. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の子供たちは、元気で明るい子が多い。「早く学級目標を考えよう」や「係活動に早く取り組みたいな」と前向きにクラスで過ごす様子を感じられる。その一方で、友達とのかかわり方が上手くいわずに相手を傷つけるような言動も見られ、繰り返し指導しているところである。

学級目標を決める際には、全員でそれぞれが3年生でなりたい自分の姿を出し合った。「自分から考えて行動できるようになりたい」「しっかりルールを守れる自分になりたい」など、様々な思いが出された。さらに担任の「楽しむことができるクラス」「自ら学ぼうとするクラス」にしたいという思いも伝えた。その上で、子供たちとそれぞれの思いを分類してまとめ、4つの目指したい姿にまとめた。そして、それぞれが自分の目標が達成でき、幸せな姿になれるようにという思いで学級目標を決めた。

学級会に向け、まず国立教育政策研究所の動画資料を視聴し、学級会の意義や進め方を確認した。自分たちで合意形成を図る経験が少ないことや実態を踏まえ、これまで行ってきた学級会では、最初の2回をミニ学級会と称して短い時間の話し合い活動に取り組んだ。「スタート集会をしよう」や「ルールを守って仲良く遊ぼう集会をしよう」という議題で、1コマの中で25分程度の学級会を行い、残りの20分程度の時間で集会と振り返りを行ってきた。次第に話し合うことに慣れたので、1コマずつの学級会と集会を行うようにした。このような経験から、現在は話し合うことを1つのみにして話し合っているが、1年間をかけて話し合うことを3本にしていきたい。

これまでの学級会の中で、理由を考えて発言することが難しい子供が多い。そのため、まずは、他者の考えを認められるようにしていきたい。その上で、相手の意見を踏まえて自分の意見を主張できるようになってほしいと願っている。また、まとめる段階で自分がやりたいことに終始してしまう様子も多く見られている。そのような中でも、怪我をしている友達を思った発言やめあてに立ち返りながら話し合いをまとめようとする姿も見られてきている。他にも、意見を合体して合意形成を図ろうとする子供の姿も見られる。話し合いをまとめる際には、今のクラスに一番必要なことを意識して合意形成がなされるようにしていきたい。また、合意形成の仕方については、司会の子供に話をしたり、授業の終末で教師からアドバイスしたりして様々な方法に出会えるようにしていきたい。

課題発見から話し合い、実践から振り返るという学習のサイクルを大切にして、子供たち一人一人がクラス全体に意識が向くように指導しているところである。1年間をかけて、自分たちでクラスを作っていくという意識を少しずつ高めていきたいと考えている。

(2) 議題選定の理由

「もっと協力できるようになりたい」や「助け合いを増やしたい」等の思いが運動会や集会の振り返りで見られた。いくつかの出された議題から、自分達が話し合いをして解決できる内容や学級をよりよくできそうな内容、やってみたいと思える内容であるかを担任と一緒に計画委員会で話し合っ確認した。また、計画委員会で話し合ったことを学級全体で共有した。その中で、子供たちは学級目標を実現するために必要であることを学級全体でも感じていた。さらに、運動会で表現や団体種目で協力することができたという成功体験もあり、学級全体でも協力していきたいという意識が高まっていた。これらことから、「協力！ 集会をしよう」を議題に選定した。

提案者は、「もっとクラスをレベルアップしたい」「みんなと仲良く関わりたい」という願いを学級に対してもっている。また、今までの実践の様子や振り返りから、優しい言葉が増えたりお互いを応援し合えたりして、少しずつ学級がよくなってきていると実感している。このことから、本実践を通して一人一人が協力する体験をすることによって、学級をさらによくしたいという思いをもっている。

本議題を話し合うにあたって、めあてを「みんなが協力して、クラスの仲を深めよう」にした。議題の発表の時には、一人一人が考える協力する姿を共有した。「息を合わせること」や「声を掛け合うこと」、「一緒に何かをすること」等の考えが子供たちから出された。これらを参考に子供たちが、集会でやることのアイディアや意見を比べ合い、理由をつけながら発言できるようになることを期待している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】 〈評価方法〉
6月 中休み	・議題箱に「みんなと協力する集会がしたい」等の思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。	☆意見や思いを議題箱に入れて、よりよい学級生活をつくろうとしている。【主体的態度】 〈観察〉
6月 日 休み時間	・議題を選定する。 ・計画委員会でめあてを決める。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選べるようにする。 ○提案者と対話を繰り返して思いを汲みながら、めあてを決められるようにする。	☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいる。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
6月 日 朝の会	・議題を発表する。	○「協力」というキーワードについて、考えを共有する。	☆話し合いの進め方について理解している。【知識・技能】 〈観察・学級会ノート〉
6月 日 朝の会	・学級会アイデアシートに自分の考えを記入する。	○提案者の思いや話し合いのめあてを確認しながら、自分の考えを書けるようにする。	
6月 日 中休み	・計画委員会で、役割分担を行い、話し合いの進め方を確認する。	○話し合いが行き詰ってしまった時どうするかやどの考えに意見が集中しそうか等を子供と一緒に想定し、話し合いの進め方を助言する。	

(2) 本時の活動

①ねらい みんなが協力できる集会の内容を話し合っ決めてすることができるようにする。

②教師の指導計画

話し合いの順序	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】 (評価方法)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 計画委員の紹介</p> <p>3. 先生の話</p> <p>4. 議題の確認 「きょう力! 集会をしよう」</p> <p>5. 提案理由の確認 「運動会では、みんなできょう力してダンスやデカパンきょう走を成こうさせることができました。クラスの中でも、きょう力するき会をふやして、みんなのなかを深めたいと思ったからです。」</p> <p>6. めあての確認 「みんながきょう力して、クラスのなかを深めよう」</p> <p>7. 決まっていることの確認 ・ 6月 日 () ・ 体育館 ・ やることは2つ</p> <p>8. 話し合い 話し合うこと① 「何をするか」 ①出し合う (事前) ②比べる ③まとめる</p>	<p>○今回の学級会で意識することを伝える。 「それぞれの意見のよいところを目を向けて話し合う」</p> <p>○話し合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認するよう声をかけ、めあてに立ち返れるようにする。</p> <p>○場所や日時など決まっていることは、黒板に掲示することで、思考を整理しやすくする。</p> <p>○進め方などでつまずいた時には、近くで助言する。</p> <p>○話型を提示しておくことで、発表が苦手な児童も発表しやすくなるようにする。</p> <p>○発表しやすい雰囲気づくりをするために、話の聞き方を適宜確認する。</p> <p>○時間を意識して話し合いができるように、話し合う段階ごとに時間を掲示する。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行きづまった時には助言する。</p> <p>○適宜、近くの人と相談する時間を設ける。</p> <p>○どんな「協力」ができるかを明確になるように問い返す。</p> <p>○アイデアシートを確認するように促すことで、理由をつけて発表できるようにする。</p> <p>○まとめる際に思考を整理しながら合意形成が図れるように、比べる段階の後、教師が子供たちと確認しながら出た意見を整理する。</p> <p>○まとめる段階では、今のクラスに必要なことが考えられるように助言する。</p>	<p>☆計画委員として司会や記録などの役割を果たして話し合いを進めている。 【思考・判断・表現】(観察)</p> <p>☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えて話し合いに参加している。 【思考・判断・表現】(観察・学級会ノート)</p>

<p>9. 決まったことの確認 10. 話合いの振り返り 11. 先生の話 12. おわりの言葉</p>	<p>○司会グループのがんばっていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。 ○今後の活動に生かせるように、友達の思いに寄り添って聞こうとしたり、相手に応えるために自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取り、学級全体に伝える。</p>	
--	---	--

③本時の視点

- ・めあてを意識して参加していたか。

④板書計画

第5回 学級会

議題きょう力！
集会をしよう

提案理由
運動会では、みんなできょう力してダンスやデカパンきょう走を成こうさせることができました。クラスの中でも、きょう力できるき会ふやして、みんなのなかを深めたいと思っただからです。

めあて
みんながきょう力して、クラスのなかを深めよう

話し合うこと①（何をするか）

決まったことの確認
ふりかえり
先生から
おわりの言葉

決まっていること

- ・6月 日 ()
- ・体育館
- ・やることは2つ

(3) 事後の活動

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】〈評価方法〉
6月 日 朝の会	・集会の役割分担をする	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。	<p>☆役割分担に基づき、協力して準備を進めている。 【思考・判断・表現】〈観察〉</p> <p>☆めあてを意識して、友達と協力して活動している。 【思考・判断・表現】〈観察〉</p>
6月 日～ 休み時間	・集会に向けて、役割毎に準備をする。	○準備の進捗状況を確認し、活動意欲が継続するよう声かけをする。	
6月 日 学級活動	・集会を行う。	<p>○めあてを提示し、意識できるようにする。</p> <p>○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでつくることのできたことを実感することができるようにする。</p>	

<p>6月 日 帰りの会</p>	<p>・学級で振り返りをする。</p>	<p>○集会での学級の姿として、よかったところやもっとよくできるところを振り返るようにする。</p> <p>○次にどんなことをしたいか、また今回の課題をどのように次に生かしていきたいかを、中心に考えられるよう助言する。</p>	<p>☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【主体的態度】 〈学級会ノート〉</p>
----------------------	---------------------	---	--